



決勝レポート

2011/9/25 Rd-6 スポーツランド SUGO

天候：晴れ 気温：20℃ 出走台数：16台

観客数：24日(土)5,500人 25日(日)12,700人

清々しい秋空となった昨日より、幾分雲が多めで肌寒くなったスポーツランド SUGO。

気温/路面温度は上がり、予選日とはまた違った環境の中緊迫のスタートを迎えた。

3番手グリッドからスタートの塚越選手と5番手グリッドからスタートの伊沢選手は、ともに抜群のスタート決め、それぞれ2番手、3番手にジャンプアップ。前を行くロッテラー選手を追う。

チームは、レース初盤にピットインしたオリベイラ選手や中嶋選手のラップタイムとタイム差に注視しながら戦略を策定。首位ロッテラー選手のピットインに合わせ、23周目に伊沢選手を、翌24周目に塚越選手をピットに呼び、タイヤ交換と給油を行いコースへ戻した。しかしトップグループのトヨタ勢は1度目のピットインを無給油で済ませたため、この時点で塚越選手5番手、伊沢選手6番手に順位を落とすこととなった。

その後も、2度目のピットインを済ませ、見えないタイム差を削るべく渾身の走行を続ける塚越選手と伊沢選手。終盤4位争いを繰り広げるも、ポジションアップ叶わず、塚越選手5位、伊沢選手6位でレースを終えた。

ところが、レース後の再車検で2位オリベイラ選手と6位伊沢選手の車両は車両寸法規則違反（フロントウィング幅）と判定され、両ドライバーに失格の裁定が下った。

40：伊沢選手 失格

朝のフリー走行でテストしたバランス変更の良い感触を得ていました。スタートも上手く決まり、3位までジャンプできました。序盤のペースもよく感じていましたが、実のところ上位のトヨタ勢はフルタンクスタートしており、車両が重い状態でのスピード差は埋めることができませんでした。レースセットアップの車両特性を100%生かせなかった反省もあります。チーム、タイヤメーカー、エンジンメーカー一丸となつての検証が必要です。

車両寸法規定違反で失格となったことは非常に残念ですし、ファンやスポンサーの皆様にも申し訳なく思います。私自身含め、チームとさらに精度の高い車両を準備し、気持ちを入れ替えてツインリンクもてぎのスプリントレースに臨みます。

41：塚越選手 4位

予選でのパフォーマンスは良いのですが、決勝のペースが上がらない（特に重い状態で）レースが続いています。ピット戦略も再考の余地があったように思います。車両バランスに関する収穫も多かったのですが、結果に結び付けられませんでした。

次戦ツインリンクもてぎのスプリントレースはチャンスがあると思いますので、地元で優勝してシーズンを締めくりたいですね。